

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和年9月30日	No.	6 - 1		
基 本 事 項	施策名	第1節 広聴・広報の充実	所管部署名	政策室	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	野尻 宗一	
	施策小項目	1 広聴の充実	関連部署名(1)	政策室	
	施策小項目	2 広報の充実	関連部署名(2)	議会事務局	
	施策小項目		関連部署名(3)		
		関連部署名(4)			
	施策の目的	・市政に反映させるために、的確な市民ニーズを把握することをめざす。 ・市政を市民に伝えることで理解高まることをめざす。	役割分担	市民の役割 行政の役割	
	施策に関する個別計画				市民の多様なニーズを把握し市政に反映するため、市民の意見・要望を積極的に聴取するとともに、市民が要求・期待する市の情報を積極的に市民に発信する。

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
指 標	①	広報よしかわを毎月読んでいる人の割合	%	62.0	48.5	71.0	D	77.0
		増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3
指 標	②	プレス発表における新聞等への掲載回数	件	71	53	82	D	88
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明	市民意識調査において広報よしかわを「毎月読んでいる」と回答した方の割合は48.5%(前年比▲3.7%)となり、施策の進捗状況は順調とは言えない。	2点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		市民意識調査で「広報よしかわで必要な市政情報を得られているか」の設問に「得られている・どちらかといえば得られている」と回答した方は86.9%であり、概ね市民ニーズは反映できたと考える。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		市民意識調査では、85%の方が「広報よしかわ」から、17.6%の方がホームページから市政情報を入力しており、「広報の充実」における「広報よしかわ等発行事業」や「市ホームページ管理運営事業」の役割は多いことや、「市民意識調査事業」のように幅広い年齢層に無作為で調査を行うものなど、事務事業の構成は妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題	市民意識調査において広報よしかわを「毎月読んでいる」と回答した方の割合は、70歳以上で65.7%、60歳代で64.8%、50歳代で52.3%、40歳代で48.3%、30歳代で30.4%、20歳代で5.6%、10歳代で12.5%であり、年齢が下がるにつれ、購読率が落ちているため、若年世代にも読んでもらえるような紙面作りが課題である。 マスメディアへの掲載回数についても目標を下回ってはいるが、情報提供件数はほぼ横ばいであり、プレスリリースに対する職員の意識は高くなっている。情報提供件数をさらに増加させるとともに、掲載率がより高まるような工夫が必要である。			
				総合評価
				3点
				評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	101201	広報よしかわ等発行事業	1	広報よしかわ掲載内容や情報量への市民満足度	%	90.00	86.90	現状のまま継続
	2	101202	市ホームページ管理運営事業	1	ホームページアクセス数	回	5,000,000	7,767,896	現状のまま継続
	3	101204	市民の声事務	1	期限内回答数	%	85.00	94.00	現状のまま継続
	4	101314	市民意識調査事業	1	市民意識調査の回収率	%	50.00	42.30	現状のまま継続
	5	101203	パブリシティ事務	1	マスメディアを通じて市民へ情報提供された件数	件	84	53	現状のまま継続
	6	904101	議会広報発行事業	1	配布部数	部	114,507	108,835	手段を改善
	7	101207	市長キャラバン事業	1	参加者数	人	40	24	現状のまま継続
	8	101205	市長とランチミーティング事業	1	参加者の満足度	%	90.00	100	現状のまま継続
	9	101206	一日市長事務	1	参加者の満足度	%	100	100	現状のまま継続
す る 事 務 事 業									

特記事項

- ・広報よしかわ等発行事業：年12回発行。毎号に特集記事を掲載し表紙と連動させた。レイアウトを見直した。
- ・市民意識調査事業：年1回1,500人へ調査票を配布。回答意欲が高まるよう調査票を見直した。
- ・パブリシティ事務：令和元年度は131件の情報提供。こしがやエフエムでラジオコーナー金のなまずを毎週金曜日に放送。ツイッターを開始しリアルタイムな情報や市からのお知らせなどの情報発信を行った。
- ・市長キャラバン事業：「美南小学校の児童数等」、「総合運動公園」、「市民農園の再整備」についてキャラバンを開催し計145人から貴重な意見をいただいた。
- ・市長とランチミーティング事業：全小中学校で開催し、計66人の児童生徒と意見交換を行った。

今後の展開

【広聴】
市民の声を広く聴き、市政運営に反映させるために、投書、アンケート調査、市長キャラバンなど様々な手段を用いて積極的に聴取する。

【広報】
既存の広報紙やウェブサイトに加え、コミュニティFMやSNSなどの新たな情報発信ツールも活用し、幅広い世代に市政情報を伝えていく。
広報よしかわについては、特集記事を掲載し、それと連動した表紙とするなど、内容やデザインを改善しており、引き続き市民に興味を持ってもらえるような紙面づくりに努める。議会広報についてはタブロイド版からA4版に変更し、より見やすく手に取ってもらえるような紙面づくりを目指す。
市ホームページについては誰もが利用しやすくなるようアクセシビリティの更なる向上を図る。
プレスリリースについてはできるだけ早い情報提供を図るなど工夫をし、マスメディア掲載回数の増加を目指す。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	6 - 2
------------	-----------	------------	-------

基 本 事 項	施策名	第2節 情報公開の推進	所管部署名	総務部	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	浅水 明彦	
	施策小項目	1 情報公開・個人情報保護の適正な運用	関連部署名(1)	総務部庶務課	
	施策小項目	2 積極的な情報の提供	関連部署名(2)	議会事務局	
	施策小項目		関連部署名(3)		
			関連部署名(4)		
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民が必要な市の情報を必要なときに入手できることをめざす。 市の保有している個人情報を本人の権利利益を害することのないよう管理することをめざす。 	役割分担	市民の役割 市民が保有する公文書の情報公開請求や個人情報の開示請求によって、市政運営や個人情報の管理などが適正に行われているかを確認することに努める。	
	施策に関する個別計画				行政の役割 市民がいつでも自由に行政情報入手し、知ることができるようにし、市政への市民参加を促進するとともに、自己に係る情報を自らが管理する「自己情報コントロール権」を市民が行使できるようにする。

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）							
指 標	①	情報公開制度・個人情報保護制度研修の修了者数	人	172	158	180	B	300
		増加することが良いとされる指標		H25年度～H27年度の累計	R1	R1		H29年度～R3年度の累計

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 3点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	3点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
	施策に関する現状と課題			
	・施策の進捗状況はおおむね順調であり、事務事業の構成も妥当であると考え。情報公開請求等件数も増加傾向で市民に制度が定着しつつあるが、一方で職員が対応する場面が増えることから、職員の制度に関する理解を深める必要がある。 ・市議会傍聴者数、議会インターネット中継者数、市議会ホームページアクセス数とも目標値を達成しており、議会活動に対する市民の関心が高まってきている。		4 成果指標達成度 3 2 1 0 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度	総合評価
			3点	3点
			施策評価 レーダーチャート	評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 6 - 3	
基 本 事 項	施策名	第3節 情報化の推進	所管部署名	総務部
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	浅水 明彦
	施策小項目	1 情報機器の適正な管理運用	関連部署名(1)	総務部庶務課
	施策小項目	2 情報通信技術を活用した利便性の向上	関連部署名(2)	総務部市民課
	施策小項目		関連部署名(3)	
			関連部署名(4)	
	施策の目的	情報通信技術を積極的に活用し、市民の利便性の向上をめざす。	役割分担	市民の役割 マイナンバー制度の内容を理解し、カードの取得並びに活用に努めるとともに、市が展開する窓口サービス業務の電子化に対して、意見や要望などを行政に発信することに努める。 行政の役割 市民が求める窓口サービスを正確かつ迅速に提供する。
	施策に関する個別計画			

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指 標	① 情報通信技術を活用した手続きの導入件数	件	3	19	6	A	8
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

評価軸	評価方法		評価点
	評価軸 ① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸 ② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明	4点
評価軸 ③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
評価軸 ④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			
備 考	・現在の事務事業は、おおむね順調である。一方、地方制度調査会や経済財政運営と改革の基本方針2020などでも行政のデジタル化が求められており、事務事業の内容拡充等が必要である。 ・コンビニ交付の推進に当たっては、マイナンバーカードの普及が大前提である。デジタル社会の基盤としてマイナンバーカードの普及は欠かせない。		総合評価
			4点
			評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	6 - 4
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第4節 計画的・総合的な行政の推進	所管部署名	政策室			
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	野尻 宗一			
	施策小項目	1 行政評価によるマネジメントの推進	施策小項目	5 人事管理の充実	関連部署名(1)	政策室	
	施策小項目	2 品質マネジメントシステムの推進	施策小項目		関連部署名(2)		
	施策小項目	3 計画的な行財政改革の推進	施策小項目		関連部署名(3)		
本	施策小項目	4 組織体制の整備	施策小項目		関連部署名(4)		
	事	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な目標設定と評価、評価に基づく継続的改善が行われることをめざす。 ・市民満足度のより一層の向上をめざす。 ・社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ的確に対応できる組織をめざす。 ・職員研修の充実により職員の能力向上、専門性の育成を推進するとともに、優れ 		役割分担	市民の役割	市の施策に対する関心を高め、まちづくりの想いを共有することに努める。
		項	施策に関する個別計画	第4次よしかわ行財政改革大綱(平成27年度～令和元年度)			
			吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度～令和元年度）				
			第6次吉川市定員適正化計画（平成27年度～令和2年度）				
	吉川市人材育成基本方針(平成30年度～)						
				行政の役割		各分野の計画における施策などの目標を明確にし、進行管理と説明責任を果たす。また、自らの創意工夫を持って、自治体経営を行う。	

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
①	市全体の取り組みに対する満足度	%	72.3	73.6	76.9	D	80.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3
②	事務事業評価の達成度	%	77.7	80.2	79.2	A	80.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
③							
④							

施策の 評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 5点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
評価軸② 施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	目標指標である「市全体の取り組みに対する満足度」（市民意識調査における「行政サービスに対する満足度」）については、当初値よりは増加しているものの、職員対応に関する意見もあり前年より減少している。また、事務事業評価の達成度については、目標値を達成しており、施策全体としては概ね順調に推移している。	3点
評価軸③ 市民ニーズ の反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		各種計画の策定にあたっては、市民参画手続きにより意見聴取を行うことで、計画への反映に努めている。また、市民意識調査を毎年行い、全庁で、様々な事業の検討に活用しているが、多様化する市民ニーズのすべてを反映することは困難となっている。	3点
評価軸④ 施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、効果的な行政運営の実施や、効率的な業務執行を図る事務事業により構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
評価	施策に関する現状と課題			総合評価
	・多様化する市民ニーズや新たな行政課題に柔軟かつ迅速な対応が求められている。 効果的かつ効率的な行政運営を行うため、限られた資源の効率的な活用や、民間手法の研究などを引き続き推進していく必要がある。 ・今後の少子高齢化や人口減少に備え、職員一人ひとりの資質の向上が不可欠となっている。		<p style="text-align: center;">施策評価 レーダーチャート</p>	3点
				評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	101312	総合振興計画策定事業	1 実施計画に掲載された新規事業及び拡充事業の数	件	20	33	現状のまま継続
	2	101315	行財政改革推進事業	2 行政サービスにおける満足度	%	80.00	73.60	現状のまま継続
	3	101313	地方版総合戦略策定事業	1 吉川市の幸福度調査	%	85.00	87.30	現状のまま継続
	4	101405	人事管理事務	2 定員適正化率	%	100	100	現状のまま継続
	5	101401	職員研修事業	1 意識変化率	%	80.00	88.00	現状のまま継続
	6	101410	職員採用事務	1 職員採用者数	人	15	15	現状のまま継続
	7	101316	ISO9001供給者適合宣言事業	1 行政サービスにおける満足度	%	80.00	73.60	現状のまま継続
	8	101317	行政評価事業	2 施策評価の目標達成度	%	40.00	43.20	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項

- ・第5次総合振興計画後期基本計画の推進にあたっては、社会情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に柔軟に対応できるよう、第5期実施計画の策定を行った。
- ・行財政改革大綱については、各取り組みの進捗管理を行いながら、SDGsなどの新たな視点を加え、「第5次よしかわ行財政改革大綱」を策定した。
- ・総合戦略については、事業の進捗などに併せて具体的な取り組みの整理を行い、SDGsなどの新たな要素を盛り込み改定した。
- ・職員研修については、SDGsを意識した広い視野を持つことで、新たな解決策を導き出せるよう、「SDGs研修」を実施した。

今後の展開

- ・第5次吉川市総合振興計画後期基本計画を計画的に推進するために、第5期実施計画の改定を行う。
- ・令和3年度に現行の第5次総合振興計画が計画満了となることから、第6次吉川市総合振興計画の策定を進める。
- ・市民ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応していくため、適正な職員の定員管理に努める。
- ・ISO9001品質マネジメントシステムを活用することで、継続的な改善を図り、市民満足度の向上を図る。
- ・業務プロセス管理表に関して、その意義や管理意識について、改めて周知・徹底を図り、より効率的な事務を進めていく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No. 6 - 5
------------	-----------	------------------

基	施策名	第5節 持続可能な財政運営		所管部署名	総務部
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）		評価責任者	浅水 明彦
	施策小項目	1 計画的な財源配分	施策小項目	関連部署名(1)	総務部財政課
	施策小項目	2 計画的な市債の活用	施策小項目	関連部署名(2)	総務部課税課
	施策小項目	3 財源の確保	施策小項目	関連部署名(3)	総務部収納課
本	施策小項目	4 財政状況の公開		関連部署名(4)	健康長寿部国保年金課
	施策の目的	計画的な行政運営を推進するために必要な財源が確保できるよう、継続的かつ安定的な財政運営をめざす。			役割分担
事	施策に関する個別計画				
項					市民の役割

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指	① 実質公債費比率	%	4.50	7.00	8.20	A	10.00
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
標	② 市税の収納率	%	98.80	99.14	98.90	A	99.00
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施策の	評価軸	評価方法		評価点
		指標達成状況	理由・説明	
評	評価軸①	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	4点
	評価軸②	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (最終年度には100%以上の達成度の見込み) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (最終年度には80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (最終年度には50~80%程度達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (最終年度には50%未満の達成度)	・「実質公債費比率」については、目標値を下回っており、現状では健全な財政を維持できている。 ・「市税の収納率」については、現状で最終目標値を上回っており、目標達成している。	4点
	評価軸③	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民ニーズを把握していないが、潜在的に「市民負担の公平性」を望んでいる中、「市税の収納率」について目標値を上回っている状況は、市民ニーズを反映できていると判断できる。	3点
	評価軸④	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・持続可能な財政運営を目指すには、予算編成、予算管理から起債や基金を管理し、決算分析において財政運営状況を判断することと、市の根源財源である市税の管理が重要であり、事務事業の構成は妥当と判断できる。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
価	施策に関する現状と課題		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>事務事業構成</p> <p>施策評価</p> <p>レーダーチャート</p> </div> </div>	総合評価
	持続可能な財政運営の推進にあたり、国・県補助金や交付税措置のある地方債を活用するなど、有効な制度の活用を図っている。今後は、公共施設の長寿命化や、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の推進による市債残高の累増が課題となる。 また、市税の収納率については、適正な課税と公平な徴収に積極的に取り組んだ結果、目標値を達成することができた。今後も公平な徴収に努めるために、効果的な納税催告を行い、滞納繰越をさせないよう資力に応じた早期の滞納処分を実施していく。			4点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 6 - 6				
基	施策名	第6節 公有財産の適正管理	所管部署名	総務部			
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	浅水 明彦			
	施策小項目	1 公有財産の適正管理	関連部署名(1)	総務部財政課			
	施策小項目	2 新庁舎の建設	関連部署名(2)	政策室			
	施策小項目	3 公共施設等のマネジメント確立	関連部署名(3)				
本	施策小項目		関連部署名(4)				
	事	施策の目的	行政サービスの提供に必要となる適正な財産保有と公有財産の効率的・効果的で適正な管理をめざす。	役割分担	市民の役割 行政の役割	公有財産等の適正な維持管理や売却・処分、新庁舎建設に関心を高めるとともに、情報を共有化し、意見を行政に発信することに努める。	
		施策に関する個別計画	公共施設等総合管理計画（平成27年度～令和26年度）				
	項						

区分	指標名（上段） 指標の性質（下段）	単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
指	① 耐震性を確保した新庁舎の建設	-	-	完了	-	A	完了
	-			H30	H30		-
標							

評価軸	評価方法	評価点
評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点
評	施策に関する現状と課題	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>事務事業構成</p> <p>施策評価</p> <p>レーダーチャート</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>成果指標達成度</p> <p>施策進捗度</p> <p>市民ニーズ反映度</p> </div> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> 旧庁舎の跡地利用について、福祉を目的とした事業の方針はあるものの、具体的内容や手法について検討する必要がある。 令和元年度において、個別施設計画（長寿命化計画）を策定するため、公共施設の劣化度調査を実施した。今後においても毎年、各公共施設の管理者により劣化調査及び評価を行う必要がある。 市が所有する未利用財産のうち、2件を公売したところ1件が落札した。引き続き未利用財産については売却を行っていく必要がある。 	
価		総合評価 4点 評価軸①～④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	202209	新庁舎建設事業	1 工事成績評点78点以上	点	78.00	83.00	終了・完了
	2	202201	庁舎管理事業	1 庁舎内における事故発生件数	件	0	0	現状のまま継続
	3	202301	市有建築物営繕事業	1 個別施設計画の策定進捗率	%	80.00	80.00	現状のまま継続
	4	202205	公有財産等管理事業	1 公有地に対する苦情件数	件	0	0	手段を改善
	5	202202	集中管理車管理事業	1 車両稼働日数	日	270	270	現状のまま継続
	6	202203	バス管理事業	1 車両事故件数	件	0	0	現状のまま継続
	7	202204	特別職車両運転業務	1 事故件数	件	0	0	現状のまま継続
	8	202208	旧庁舎管理事業	1 庁舎跡地の方向性の決定	件	1	1	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項
・新庁舎建設事業は、令和元年度旧庁舎の解体工事が完了したため、事務事業が完了した。

今後の展開
・旧庁舎跡地の活用について、具体的検討を進める。
・市内公共施設の個別施設計画（長寿命化計画）をR2年度中に策定する。また、公共施設の劣化度調査・評価については、毎年行う。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 6 - 7
基 本 事 項	施策名	第7節 地方分権の推進	所管部署名 政策室
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者 野尻 宗一
	施策小項目	1 権限移譲の推進	関連部署名(1) 政策室
	施策小項目	2 広域連携の充実	関連部署名(2) 総務部市民課
	施策小項目		関連部署名(3)
			関連部署名(4)
	施策の目的	自己決定、自己責任で、地域の問題を解決することをめざす。	役 割 分 担 市民の役割 行政の役割
	施策に関する個別計画		
			地方分権に向けた市の取り組みについて関心を持ち、理解することに努める。
			自己責任により自己決定し、自主・自律的に地域課題を解決する。

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指 標	① 計画期間内の権限移譲事務数	事務	-	0	-	D	5
	増加することが良いとされる指標		-	R1	R1		H29年度～R3年度の累計

施策の評価	評価軸	評価方法	評価点
		評価軸 ① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。
	評価軸 ② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	2点
	評価軸 ③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	3点
	評価軸 ④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点
	施策に関する現状と課題		総合評価
	<p>・権限移譲においては、第五次埼玉県権限移譲方針に基づき検討しているが、年間の取り扱い件数が少ない事務については、ノウハウが蓄積されにくいという課題があるため、移譲が受けにくい。</p> <p>・広域連携においては、公共施設予約システムの運用など、市単独では実施や解決が困難である行政運営について埼玉県東南部都市連絡調整会議（近隣市町で構成）と共同で行っている。また、他自治体とともに新たな連携を研究している。</p>		3点
	<p style="text-align: center;">施策評価 レーダーチャート</p>		評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 6 - 8
基 本 事 項	施策名	第8節 シティプロモーションの推進	所管部署名 政策室
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者 野尻 宗一
	施策小項目	1 魅力の発掘と充実	関連部署名(1) 政策室
	施策小項目	2 新たな魅力の創出	関連部署名(2)
	施策小項目		関連部署名(3)
	施策小項目		関連部署名(4)
	施策の目的	市民が誇りに思えるような吉川の魅力を創出するとともに、市内外に発信することで、まちの価値を高めることをめざす。	役 割 分 担
	施策に関する個別計画	吉川市シティプロモーション基本方針(平成28年度～)	
			市民の役割 行政の役割
			市民が誇りに思えるような吉川の魅力を創出するとともに、市内外に発信することで、まちの価値を高めることをめざす。

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	① 市への愛着度	%	78.30	75.40	79.43	D	80.00
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
標	② 人口(4月1日現在)	人	71,179	73,014	73,472	B	75,000
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

評価軸	評価方法	評価点
評価軸 ① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸 ② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	2点
評価軸 ③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	3点
評価軸 ④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	3点
	施策に関する現状と課題	
備	・指標の「愛着度」については、在住年数を重ねるほど高くなる指標であるため、近年転入者が増加していることから数値が低くなっているものと思える取り組みが必要である。 ・シティプロモーションにつながる事業は、各課において様々展開されているものの、事業の位置づけやプロモーション活動等は、個々で行っている状況であり、市としてのプロモーションとして整理することで、より効果的なPRができる。	総合評価 <div style="text-align: center;"> </div> 3点 評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事 務 事 業 名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成 す る 事 務 事 業	1	101318	シティプロモーション事業	2	市への定住意向	%	80.00	73.80	効率化

特記事項
 ・シティプロモーション自治体等連絡協議会を通じて、先進的な手法などについて情報収集を行い、関係部署に情報提供を行った。また、各部署で行っている愛着心の醸成や認知度の向上につながる事業の整理を進めている。

今後の展開
 ・市の魅力や資源の情報発信については、シティプロモーション基本方針に基づき様々な施策の中で行っている。これらの取組みを整理し、全庁で市内外に戦略的に発信していく必要がある。